

# わがんせ

3・4月号

朝、昼の寒暖差が春の訪れを迎え、菜の花や桜の季節となりました。わがんせでは新たに2名の仲間を迎え、新年度では仲間が27名となります。季節行事やレクリエーションなどを通じ仲間同士の絆を築けることを心より願っております。

また、今年4月で熊本震災から10年が経過します。当時わがんせでも現地に向い、微力ながら復興支援をさせていただきました。この熊本地震は、長期にわたる余震の揺れにより肉体的・精神的負担の影響が様々な災害関連死を引き起こしました。わがんせではこの10年の節目を迎えることで、もしもの時に備え災害等による対策をより一層強化していきたいと思っています。

**入社式** を令和8年4月1日に「こぼらーと」にて行い、新しい仲間をみんな笑顔で迎えました。

先輩から一言



「わがんせ」へようこそ！  
よろしくね！



桜の形です

今日の昼食はワンプレート(≧▽≦)

ご飯が桜の花の形です  
美味しく食べました！



**新しい仲間** の紹介です。



★江頭那央也さん★



★藤田えみさん★

**桜** や菜の花など、季節のスポットに行ってきました！



玉名市の、河川敷の菜の花を見てきました！一面、菜の花でした。



長洲町の金魚の郷に行ってきました！  
天候も良く桜が満開できれいでした  
桜がきれいだね



「増えすぎたから抑制」障害福祉政策の矛盾

NPO法人花梨の家 事務局長 飯田崇史

高市内閣は、令和7年11月21日の会見において、医療・介護職員の賃上げを掲げた。しかし、令和8年2月18日、厚生労働省の障害福祉サービス等報酬改定検討チームより、処遇改善と同時にサービス供給を抑制する政策となる、令和8年度障害福祉サービス等報酬改定の内容が示された。

その中では、職員の処遇改善（微増）に加え、就労継続B型、グループホーム、児童発達支援、放課後等デイサービスについて、報酬（公的給付）の減額、または新規事業の抑制が打ち出された。検討チームの資料では、これらの減額措置について次のように記載されている。

○障害福祉サービス等に係る総費用が増加し、人材確保が喫緊かつ重要な課題となる中、一定の収支差率を確保しつつ、事業所数や利用者数の伸びが継続している状況にある。このため、サービスの質を担保しつつ制度の持続可能性を確保する観点から、新規事業所に限り臨時応急的な見直しを実施する。

○収支差率が高く、かつ事業所が急増しているサービス類型について、サービスの質を担保しつつ制度の持続可能性を確保する観点から、新規事業所に限り令和9年度報酬改定までの間、応急的な報酬単価（一定程度引き下げた基本報酬）を適用する。

これをわかりやすく言えば、「厚生労働省の想定以上に、就労継続B型やグループホーム、児童発達支援、放課後等デイサービスの事業所が増加し、さらに、予想より儲けてたので、報酬を下げて事業者が増えないようにします」という内容である。

営利を目的とした事業者への抑制という意図もあると考えられるが、そもそも営利企業の参入を認めたのは厚生労働省である。利用者の高齢化などのニーズに応じて新規事業を検討してきた適正な事業者や利用者に影響が及ぶことは避けられない。

音楽療法便り 第2回

倉岡弘子



—音楽療法と音楽レクリエーションはどう違う？—

「わがんせ」開所以前から、グループ「ドレミ」としてセッションが始まったいきさつを前回おはなししました。そこで今回は「療法」と「レクリエーション」の違いについて考えてみたいと思います

「ドレミ」でのスタート以来、途切れなく「わがんせ」に引き継がれて以来約30年実施し続けているこの音楽の時間は「音楽療法」として行っている支援活動です。見た目には歌や楽器を楽しんでいるように見えますが、レクリエーションとは少し違います。

「音楽レクリエーション」は音楽を通して楽しみや交流を深める事を主な目的とする活動です。一方「音楽療法」は音楽を用いて心身の働きを支え、その方の成長や安定につながる事を目的としています。楽しさを大切にしながらもおひとりおひとりの状態や課題をふまえ意図をもってプログラムを構成しています。

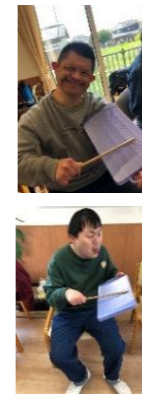
例えば発声が少ない方には、自然に声が出やすい働きかけを行い、対人緊張が強い方には安心できる関わりの中でやりとりを促します。順番を待つ、合図で動く、選択をする、といった体験も組み込みますが、これらは日々の生活や支援目標ともつながります。

次回はもう少し具体的な“効果”も紹介したいと思います。

音楽療法で使用する楽器等も写真で御覧下さい。



手で圧力をかけると音が出ます。



楽しいね♪

NPO法人 花梨の家通信

熊本県荒尾市荒尾1694-1 No. 189 2026/4/24

TEL 0968-62-1175 FAX 0968-57-7587

Email: araokarin@ybb.ne.jp 発行責任者：飯田崇史

～賛助会員のお願い～

【会費】 一口 1,000円 (年間)

【会員特典】

- ①会員証を発行致します
- ②花梨の家通信をお届け致します (偶数月発行)
- ③さまざまな行事、講演会などにご案内致します。

\*お振り込み下さる方は下記の口座までお願い致します。

ゆうちょ銀行振替口座

【口座番号】01740-8-146676

【名義】NPO法人花梨の家

ゆうちょ銀行普通預金

【記号】17190 【番号】25972051

【名義】NPO法人花梨の家

肥後銀行普通預金

【店番号】208 荒尾中央支店

【口座番号】346498

【名義】NPO法人花梨の家

避難訓練



半年に一回の避難訓練を行いました。「火事だー！」の合図で一斉に慌てず迅速に避難することができました。

避難した後は水消火器で消火訓練を行い、みんな真剣に取り組まれ無事訓練ができました。



ひなまつり

ひな祭りを行いました。ひし形を積み上げるゲームをしました。みんなすごく上手です！



中島史博さん



令和8年3月5日に熊日びぶれす広場にてなかま芸術祭が行われました。84名の仲間が参加され91作品が展覧されました！

わがんせからは16作品を出展し、物販もしてきました。

平日にもかかわらず約300の方が気に入った作品に投票シールを貼ってくれました。



渡辺聖也さん



赤嶺陸斗さん



中嶋紗菜さん



塩崎梨歩さん



右田遙奈さん



宮崎展善さん



岡本美里さん



袋田良子さん



宮崎麻衣子さん



山下一仁さん



與田圭一朗さん



竹下垂樹さん



石川剛さん



坂田朋樹さん



大園和子さん

職員紹介



高木孝行さん (送迎員)

和水町の高木と申します。早く戦力になれる様頑張りますので、よろしくお願ひします。

